

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年6月19日(2014.6.19)

【公開番号】特開2012-130693(P2012-130693A)

【公開日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-027

【出願番号】特願2011-277817(P2011-277817)

【国際特許分類】

A 6 3 B 53/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 53/04 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年4月17日(2014.4.17)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0024

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0024】

内部遷移領域322と同様に、外部遷移領域324も垂直方向に対称でない。上側外部遷移領域324aは全般的には下側外部遷移領域324bより厚くてよい。より具体的には、上側外部遷移領域324aの厚さd4は打撃フェース302のクラウン部分の近くで全般的には約2.90mmから約2.93mmへ、より好ましくは約2.80mmから約2.83mmへ、最も好ましくは約2.70mmから約2.73mmへ遷移して良い。下側外部遷移領域324bの厚さd5は打撃フェース302のソール部分の近くで徐々に約2.80mmから約2.78mmへ、より好ましくは約2.70mmから約2.68mmへ、最も好ましくは約2.60mmから約2.58mmへ遷移して良い。上述の種々の厚さd1、d2、d3、d4、およびd5に基づいて、この発明の事例的な実施例に示される打撃フェース302は、厚い上方部分、薄い下方部分を、厚肉の中央領域320とともに伴ってゴルフクラブヘッド300の性能を最適化する幾何構造を形成することがわかる。換言すれば、上側内部遷移領域322aおよび上側外部遷移領域322bが相互に組合わされて打撃フェース302の上方部分の近くで懸垂曲線を形成し、他方、下側内部遷移領域322bおよび下側外部遷移領域324bが厚さをコンスタントに減少させる曲線を形成する。